

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

«無断転載禁止»

レジメン番号： GAST-103

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
胃がん	SP療法 CDDP60+S-1 (SH法)	35日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	Lancet Oncol 9: 215-21, 2008

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	～	35
①	テキサート パロノセトロン アロカリス	9.9mg 0.75mg/50mL 235mg	点滴静注	30分								↓																
②	硫酸Mg フィジオ70	8mL 500mL	点滴静注	60分								↓																
③	マンニトール	300mL	点滴静注	60分								↓																
④	シスプラチナ 生理食塩液	60mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴静注	60分								↓																
⑤	フィジオ70	500mL	点滴静注	60分								↓																
⑥	ティーエスワン	80mg/m <sup>2</sup> /日	内服	1日2回に 分けて 朝夕食後	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	

<注意事項/備考>

- ✓ 催吐リスク：高：NK1受容体拮抗薬+5HT3拮抗薬+DEX
- ✓ CDDP：腎毒性軽減目的にMg投与
- ✓ 聴力障害（CDDP）：総投与量300mg/m<sup>2</sup>以上で高音域の聴力低下、耳鳴りなどの発現↑
- ✓ S-1投与量：BSA<1.25m<sup>2</sup>：80mg/day、1.25≤BSA≤1.5m<sup>2</sup>：100mg/day、BSA>1.5m<sup>2</sup>：120mg/day
- ✓ S-1：他のフッ化ピリミジン系薬剤と併用禁忌（前後7日間以上の間隔を空ける） / 空腹時の内服は避ける（抗腫瘍効果减弱の可能性）